



令和3年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(意匠)

株式会社クボタ

代表取締役社長 北尾 裕一

会社概要

<https://www.kubota.co.jp/>

所在地 大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

創業 1890年

資本金 84,130百万円

従業員 41,605人(連結)

事業内容 食料・水・環境分野のグローバルな課題解決を目指して、農業機械、エンジン、建設機械、パイプインフラ関連製品、環境関連製品等の多様な製品とソリューションの提供を行う。



受賞のポイント

- ブランドデザイン戦略(デザイン=ブランド)として機械製品(農業機械、建設機械等)には必ずコーポレートシンボルおよび機体エンブレム(オーバルK)を付けることで、クボタブランドを表現し、統一デザインでブランド価値を向上している。
- 機械製品については、製品毎に異なるデザインを見直し、クボタらしさを追求し、一貫性と機能性を持たせ進化するデザインとして「ファミリーロック戦略※」を推進するとともに、クボタらしさを表した製品群のデザインについて積極的に意匠権を取得している。また、農業機械全体をグローバルな視点で捉え、一目で「クボタ製品」と判るようクボタオレンジを使用した「ブランドカラー戦略」を推進している。※メーカーの独自性を表現する製品群で一貫性のある外観デザイン
- 中期経営計画に対応した事業毎の知財戦略を策定するとともに、全社におけるリスク管理活動のうち、品質保証や安全衛生など同様の重大なリスクの一つとして知的財産リスクを位置付けており、毎年、関連会社を含めた技術開発部門を対象に「知的財産リスク管理監査」を実施している。



電動小型建機(ミニバックホー)と
乗用型電動草刈機(トラクター)の試作機
<2020年1月公開>



農業機械におけるクボタオレンジのブランドカラー戦略の展開
(創業130周年記念アニバーサリー機)



機体エンブレム
(オーバルK:クボタ機械製品の
シンボルとして1999年に設定)

Kubota

コーポレートシンボル
(創業100周年を迎えた1990年に
社名変更とともに設定)